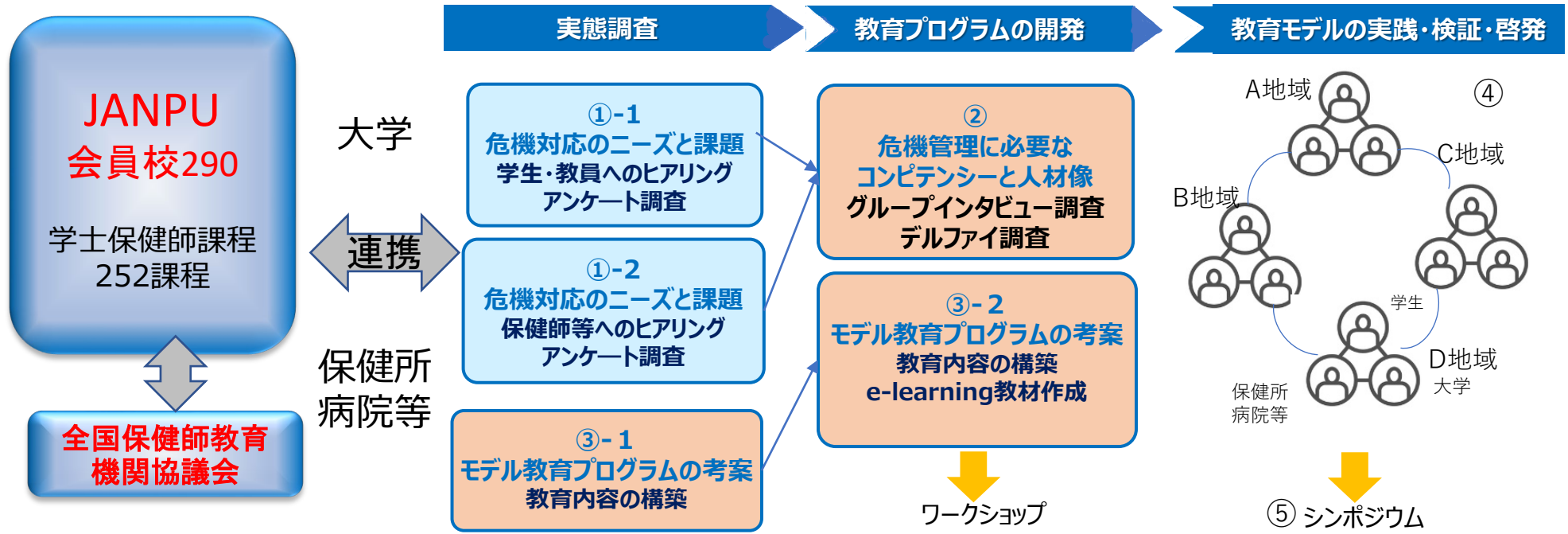


図1. 学士課程における看護学教育の質保証に関する調査研究 —感染症等の健康危機に対応できる保健人材養成のための調査研究事業(案) (JANPU)—

目的：JANPUの組織を基盤に、新興感染症等による健康危機に対応できる保健人材養成をめざし、①現場（保健所・保健センター、病院、訪問看護ステーション、大学等）における健康危機対応のニーズと課題を調査し、②調査結果に基づき、感染症対応を含む健康危機管理に必要なコンピテンシーならびに人材像を明確化し、③感染症に強い保健人材育成に必要なモデル教育プログラムの考案し、ワークショップにより広く普及する。④モデル教育プログラムに基づき、複数の地域において、現場とシームレスで一体となった教育モデルの実践・検証を実施する。⑤公開シンポジウムを開催し、一連の調査研究の成果について現場にフィードバックし、啓発する。



JANPUによる調査事業の特徴

- 看護系大学全体に対する組織的な調査が可能
- 調査・分析結果に対するパブリックコメントを得、教育モデル試行に活用
- 組織的な大学間連携の推進
- 結果・評価をシンポジウムにより発信
- 事後のコア・カリキュラムの改訂への組織的取り組み

令和4年度：実態調査

- JANPUにおける調査委員会の組織化
- 大学ならびに保健所、病院、訪問看護ステーションに対する実態調査
- 教育プログラムのプロトタイプ検討
- 教育プログラム開発委員会、評価委員会の組織化(教育学専門・市民を含む)

令和5年度：モデル教育プログラムの考案

- フォーカスグループインタビュー調査とデルファイ調査
- 調査に基づくモデル教育プログラムの考案
- e-learning教材作成
- モデル教育プログラムの普及(ワークショップ)

令和6年度：評価と啓発

- 教育モデルの試行と追跡調査
- 教育モデル試行の包括的評価(学生 教員・大学 保健所等 外部評価者)
- シンポジウムによる啓発
- コア・カリキュラムの改訂のためのワーキング推進